

内科：消化器科

高山赤十字病院 内科(消化器専門医)後期臨床研修プログラム

1. 研修期間

シニアレジデント3年:認定内科医取得期間、専門医習得準備期間

チーフレジデント2～3年:専門医習得期間

シニアレジデントは内科後期臨床研修プログラムに従う、本格的に行うのはチーフレジデント期間中である。

2. 後期研修の目的

日本内科学会認定医制度教育病院であり、卒後臨床研修後に消化器内科の専攻を希望する卒後3年目以降の医師を対象とする。消化器内科のレジデント研修は、まず内科一般の基礎知識を習得した上で、消化器病全般の知識と腹部超音波、ファイバースコープ、消化管造影検査全般、ERCP、腹部血管造影検査などの検査技術の習得および診断能力を獲得することにより、消化器領域のいかなる分野の診療および検査においても習熟した消化器専門医の育成を目的とする。後期研修中は日本内科学会認定医取得後、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会など各種学会への発表指導や学会雑誌などに対する論文指導もあり、将来の消化器関連学会の認定医、専門医、指導医への基礎を作ることができる。

3. 到達目標

消化器疾患の各分野において、病態および診断・治療についての知識を深め技能を向上させる。また放射線科、外科、病理と連携し消化器病を理解する。

腹部超音波、食道、胃十二指腸ファイバー、大腸ファイバー、ERCP、腹部アンギオなどの手技と読影力の習得。消化器疾患における処置の習得。

ラジオ波焼却療法(RFA)、肝生検、肝動脈塞栓術(TAE)、食道静脈瘤硬化療法(EIS)、同結紮術(EVL)、各種ポリペクトミー、内視鏡的経鼻胆道ドレナージ術(ENBD)、内視鏡的乳頭切開術(EST)、経皮的胆管ドレナージ術(PTCD)、超音波内視鏡下穿刺吸引生検法(EUS-FNAB)など研究会、学会での発表および論文作成に当たる。

カンファレンス、勉強会に積極的に参加し、基礎的あるいは最新の知識や成果を学ぶ。文献の検索法や英文論文の読み方、EBMの手法を学ぶ。

4. 研修プログラム

消化器病学会研修到達目標を基に別途定める。

5. 週間スケジュール

	午前	午後
月	腹部超音波検査・注腸造影検査	病棟業務
火	腹部超音波検査、上部消化管内視鏡検査	大腸内視鏡検査、ERCP、PTCD
水	腹部超音波検査、上部消化管内視鏡検査	大腸内視鏡検査、ERCP、PTCD
木	上部消化管内視鏡検査、超音波内視鏡検査	腹部血管造影検査
金	腹部超音波検査、上部消化管内視鏡検査	病棟業務
	その他、消化器科外来を週1～2回担当する。	